

岡山県医用工学研究会・岡山大学病院シンポジウム 開催記録

【日 時】2020年2月13日(木) 13:30~17:15

【会 場】岡山大学鹿田キャンパス 臨床講義棟2階 第二講義室

【総合テーマ】日本の次世代を担う医療機器開発人材の育成「AMED次世代医療機器連携拠点整備等事業」の展開

【参加者】シンポジウム79名

【主催】岡山県医用工学研究会・岡山大学病院

【共催】NPO法人メディカルテクノおかやま

【講師・パネリスト】

日本医療研究開発機構 (AMED) 産学連携部医療機器研究課 調査役 鈴木友人

一般社団法人日本医工ものづくりコモンズ 理事長 慶応義塾大学名誉教授 谷下一夫

大分大学医学部附属臨床医工学センター 教授 穴井博文

神戸大学未来医工学研究開発センター/医学部附属病院 特命准教授 保多隆裕

イメージング&ロボティクス株式会社 代表取締役 谷本圭司

鳥取大学研究推進機構 研究戦略室 URA 准教授 古賀敦朗

広島大学トランスレーショナルリサーチセンターバイオデザイン部門 部門長/准教授 木阪智彦

株式会社カワニシホールディングス 代表取締役社長(医学博士) 前島洋平

岡山大学病院 新医療研究開発センター 准教授 櫻井淳

【概要報告】

第121回岡山県医用工学研究会と岡山大学病院の共催により、合同シンポジウム「日本の次世代を担う医療機器開発人材の育成 「AMED次世代医療機器連携拠点整備等事業」の展開」を岡山大学病院において開催しました。当日は企業、官公庁、大学研究機関等から合計79名の方にご参加いただき、活発な議論がなされました。

第一部では日本医療研究開発機構 (AMED) 産学連携部医療機器研究課 調査役 鈴木友人様より、AMEDの行う「次世代医療機器連携拠点整備等事業」の概要について説明があり、拠点間で連携したオールジャパンでのイノベーション創出について、本人材育成事業の重要性をお話しいただきました。また、一般社団法人日本医工ものづくりコモンズ 理事長 慶応義塾大学名誉教授 谷下一夫先生より、「イノベーションを起こす人材、リードイノベーター」の育成と不可欠であ

ることをお話しいただきました。大分大学医学部附属臨床医工学センター 教授 穴井博文先生から「臨床現場主導の産学官連携による医療機器開発人材育成」と題して大分大学拠点の取り組みと東九州メディカルバレー構想の展開について、神戸大学未来医工学研究開発センター／医学部附属病院 特命准教授 保多隆裕先生より、「医療機器開発の“日本型エコシステム”に必要な人材とその育成」と題して医療機器開発を自ら行い、また支援するメディカル・デバイス・プロデューサー（MDP）の育成について、それぞれご発表いただきました。イメージング&ロボティクス（株）代表取締役 谷本圭司様からは、医工連携で開発したCT透視ガイド下針穿刺ロボットの開発と、医療機器安全性規格の理解並びに医工連携を通じた若手医療機器開発エンジニアの育成についてご発表いただきました。

後半の第二部では、第一部の講師の先生方に加え、鳥取大学研究推進機構 研究戦略室 URA 准教授 古賀敦朗先生、広島大学トランスレーショナルリサーチセンターバイオデザイン部門 部門長／准教授 木阪智彦先生を加え、医療機器開発を支える人材育成において、今求められることや今後の課題についてご議論いただきました。また最後に産、学、官それぞれの立場からお互いの相互理解のために「対等な立場で学び、話し合える場」が必要であり、また病院や行政も企業の方を積極的に事業に招き、ものづくりをする開発人材やそれを支援する人材を、皆で育成することが重要であるとのメッセージが発信されました。



パネルディスカッションの様子



シンポジウム会場の様子